



## 褥瘡発生率

---

### <項目解説>

---

褥瘡（床ずれ）は患者さまのQOL（生活の質）を低下させ、結果的に在院日数の長期化や医療費の増大にもつながります。そのため、褥瘡予防対策は患者さんに提供されるべき医療の重要な項目の1つとなっています。

褥瘡の治療はしばしば困難であり、発症予防がより重要となることから、関連知識の蓄積、予防の計画、予防の実施にかかる総合力を評価します。

### <当院の実績>

---

【平成25年度】	0.04%	(109/257, 938)
【平成26年度】	0.03%	(81/260, 068)
【平成27年度】	0.04%	(98/245, 247)
【平成28年度】	0.04%	(86/239, 213)
【平成29年度】	0.03%	(78/228, 853)

### <当院の自己点検評価>

---

当院では、看護部を中心に「褥瘡予防対策実践チーム」を結成しており、多職種にわたるチーム医療の実践に努めております。今後も引き続き、褥瘡の発生予防と治療改善に努めていきます。

### <定義>

---

- ・重症度d2以上、院内での新規発生に限定
  - ・すでに褥創が発生している患者群を除く
- ※日本病院会QIプロジェクトの定義に準拠

### <算式>

---

分子：新規褥瘡発生患者数

分母：入院延べ患者数（新生児を含む）